

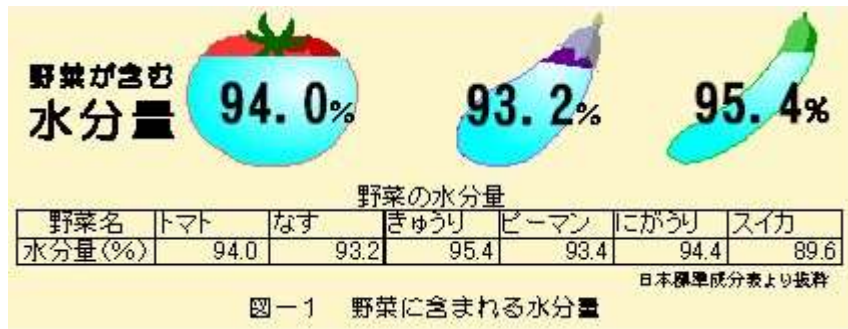
酸素ナノバブル水で灌水量を増やし収量アップ!!

灌水の難しさを酸素ナノバブル水が解決。

これまで、灌水のやり過ぎは、酸素欠乏を引き起こし、根腐れ・徒長現象・病害などを発生させるので、灌水には豊富な経験と知識が必要でしたが、**酸素を多量に含んだ酸素ナノ水は、酸素不足による根腐れを防止し、収量を高めます。**

収穫物の90%は水、収量アップには灌水量を増やす。

野菜に含まれる水分量は約90%、水は作物の最大の原料です。(図-1 野菜に含まれる水分量)「灌水量アップ」なしでは「収量アップ」は実現できません。



トマトの収量を15t/10aから25t/10aにするためには

トマト収量を15t/10aから25t/10aにするためには、果実重量増加分に占める水分量が9.4t、茎葉根からの水分蒸散量が30.6t、合計で約40tの水が多く必要となります。栽培期間8ヶ月、灌水間隔5日に1回と仮定して単純計算すると、1回当りの灌水量は、約833L多く必要となります。



酸素ナノバブル水は湿害を解消

根は、土壌内空気から根周囲の水膜へ溶け込んだ酸素を、水と共に吸収します。(図-A) 湿害は、土壌内空気と水が置き換わり、水膜への酸素供給が途絶えることにより発生します。(図-B) **酸素ナノバブル水は、水に溶けた状態で根に酸素を供給するので、速効性があります。**(図-C) 根が水中に完全に水没する水耕栽培で、作物が健全に生育できるのは、栽培水に酸素が十分に含まれているからです。(図-D)

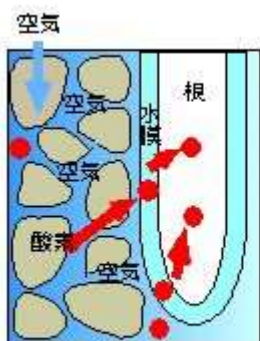


図-A 根の酸素吸収

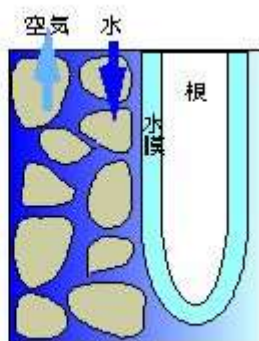


図-B 灌水時の酸欠

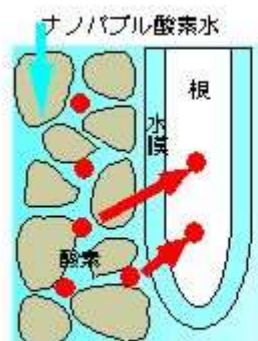


図-C 酸素水の灌水



図-D トマト水耕栽培